

立川市ゴルフ協会会報

Let's Enjoy Golf



vol.2

2006.6.3

「お客さまの声」は、たましんの力。



たましんは、お客さまとともに
価値を創造し、夢を実現して
まいります。

たましんの経営理念は“お客さまの幸せづくり”。お客さまに価値あるご提案をし、暮らしや事業の営みに、つねに必要なとされる地域金融機関となることをめざしています。私たちは、「お客さまの声」を何よりも大切にします。一人ひとりの悩みや課題をお聞きし、ひとつひとつ解決してまいります。あなたの声をお寄せください。どんなささいなことでもお聞かせください。“幸せづくり”に向けて、全職員がお応えしてまいります。

たましんにご相談ください。77店舗の窓口や約500名のお客さま担当が、お客さまの声にお応えいたします。 [たましんホームページ http://www.tamashin.jp](http://www.tamashin.jp)

次年度に向けて

立川市ゴルフ協会理事長

竹川茂彦

立川市ゴルフ協会が立川市体育協会に入会し8年が経ちました。

体育協会の仲間入りをし、国民体育大会（通称：国体）にも参加できるようになります。

立川市ゴルフ協会主催のゴルフ競技会に出席し優秀な成績を得れば東京都の大会に、更に結果が良ければ東京都代表として国体の選手にも成れるわけです。

ここ数年を回顧してみますと、平成16年11月18日に行われた市民ゴルフ大会（青梅ゴルフクラブ）に於いて眞田雅彦氏が優勝いたしました。（スクラッチ並びにアンダーハンドの部とも）彼はその後日本オープンゴルフ選手権に向けて研修を重ね、最終予選まで頑張り、日本オープンゴルフ選手権大会（第70回）の出場権を獲得したのであります。

プロとアマチュア合計で144名、アマチュア20名の仲間入りをし廣野ゴルフクラブ（神戸）で戦いました。



そして又、18年には、日本ゴルフ協会（JGA）のナショナルチーム（12名）の内の一人にも選出され、国際試合にも参加することになりました。

立川市ゴルフ協会の一員としてこのような晴れがましい姿を想像し本当にうれしく喜ばしいことです。

立川市ゴルフ協会も年を経るに従い色々な意味でレベルが高くなっているように思われますが我田引水でしょうか。

ゴルフ大会の折にふれゴルフのルールや改正事項等担当の委員会の方々から種々解説や説明をいただき、会員がより楽しいゴルフが出来るようになったと思います。

立川市ゴルフ協会主催のゴルフ大会もスクラッチ競技のみならず、アンダーハンドの部を設け、シンペリア方式などを取り入れて楽しく面白い部分もありますので、より多くの会員の参加で今後の立川市ゴルフ協会の大会を盛り上げていただきたいと思います。願う次第です。

協会の役員には会計をはじめ総務・競技・広報・規則およびハンディキャップ・ジュニア育成と各委員会の方々には裏方としてボランティアで色々とお世話になり、その為に立川市ゴルフ協会が成り立っているわけであり、改めて感謝申し上げますと共に今後とも会員ともども宜しくお願い致します。

（左写真は平成17年7月7日に行われた立川市ゴルフ協会親睦ゴルフ大会の懇親会風景）

次年度に向けて	竹川茂彦	3
特集座談会「ノーサンの裏話」		4
スナッグ・ゴルフ講習会報告	榎戸岩雄	8
各種協議会報告		9

目次

中村登茂行さんを偲んで	豊泉幸夫	10
ふたたび「幻のコース」を訪ねて	大澤啓蔵	11
立川市ゴルフ協会規約		13
立川市ゴルフ協会役員及び委員会		14

特集座談会

ノーサンの裏話

= 野口正三 JGA 競技委員長にきく =



出席者

野口正三 JGA 競技委員長 (立川市ゴルフ協会副会長)
豊泉幸夫立川市ゴルフ協会専務理事 (JGA 競技委員)
竹川茂彦立川市ゴルフ協会理事長
大澤啓蔵広報委員長
小野 優広報副委員長

■競技会のコース決定は？

大澤：本日はお忙しい中皆様にお集まり頂きまして有難うございます。今日は野口さんからいろいろ楽しい、あるいはつらい話など、ここでなければ出来ないようなお話を伺えたらと思います。

ではさっそくですが、まず JGA (日本ゴルフ協会) の競技委員長という役職はとても大変だと思いますが、引き受けられた理由は何でしょうか。

野口：競技委員長を受けたのは、プレーヤーの気持ちに立って競技会を運営することが大切だと思ったからです。自分もかつて日本オープンや関東オープンに出場していた時期がありまして、その経験が役立たせられるかと思ったんです。

大澤：いろいろご苦労は多いと思いますが、野口さんの持つ許容量が競技委員長を続けられる原因なんでしょうね。

野口：みんなが公平にプレーできて競技会がスムーズに終わったとき、競技委員長として満足感を覚えますね。メディアからの時間的な設定を強いられることもありますしね。

大澤：試合に関しての準備はどの位前から始めるんですか。

野口：6年くらい前からコースの選定を始めます。

現在は開催を希望するコースは沢山ありますから、JGA からお願いしなくても大丈夫です。コース決定の条件ですが、距離や難易度も問題ですが、ギャラリーの受入れ、交通のアクセス、練習場の状態などいろいろ考慮します。古賀で開催したときは、練習場の230ヤードのところの高さ20ヤードのネットを増設したんですが、それでも出てしまい、さらにクレーンで15ヤードのネットを吊ったこともありました。練習場は重要な要素ですね。

大澤：狭山でのダイヤモンドカップの時も試合で使わないコースを練習場にしましたね。

豊泉：狭山の練習場は、我々には広すぎるくらいですが、プロでは出てしまって使えませんね。実際には競技を見るより練習風景を見る方がよっぽど楽しいし、勉強になりますね。だから、皆さん見たがりますよ。特に3日目までのラウンド後の練習は密度が濃くて、見応えありますよ。

野口：ラウンド後の練習が特に熱心なのは中嶋常幸ですね。それにだいぶ昔のある時、朝、風呂場に行ったら中嶋常幸はトレーナー付で身体のケアをしてましたね。みんなの見てないところでいろいろやってるんだなと思いましたね。今はだいぶいろんな人もやってますがね。

竹川：私も朝、風呂に入りたくて係の人に頼んだとき中嶋がトランク一枚で柔軟やストレッチを熱心にやりましたよ。

野口：競技委員長を受けて5年になりますが、最初の時、下関で日本オープンをやった時

のことなんですが、8番のパー3が3ヤード狂っ



てると叱られたことがありますよ。原因はというと、そこは砂地でしかも高麗グリーン、水の問題は考えられなかったんですが、その夜大雨になって、翌朝グリーンに水が浮いちゃったんですね。7～8ホールが水浸しになっていて、ベテランのグリーンキーパーも考えられないと言うんですが、現実には水をかぶっちゃって、プレーできない状態だったんですね。仕方なく、人手を集めて水を掻き出したんですが、その時たまたま8番のマークを確認し損なっちゃったんですね。プレーヤーから指摘をされて実測すると3ヤード狂ってたんですよ。それが選手会長の耳に入り、さらに競技担当理事の選手の耳に入ったもんだから、ごねられましたね、最終的には私が謝りに行きましたよ。でもその場所はやっぱり風呂場でしたね。その選手も朝そこで身体を作っていましたよ。

■ゴルフは錯覚の競技

大澤：プロにとっては仕事場であり、競技委員は自然との闘いがあり、その接点ではいろんなハプニングが起こるんですね。

野口：我々セッティングする方は守りなんです。プレーヤーは攻めですから。開催が決まってからその試合にふさわしいコースをセッティングし、ゴルフ場に作らせるんですが、プロならこのホールはこういう攻め方が出来るだろうという企画をするわけです。でも非常識なセッティングはしませんよ。

小野：スコアはどの位が目安なんですか。

野口：今セッティングはほとんどJGAの川田太三さんをお願いしていますが、1日2アンダーが見る方にも、プレーヤーにもいいように思いますね。面白いことに、初日のアンダーの5割り増しが優勝スコアに近いんですよ。だから、初日ですごいアンダーが出たからといってコースがどうのとは言えませんね。プロはバーディを取って見せたいんですが、あまり大きなアンダーになるのはどうでしょうかね。ホールロケーションを少し変えるだけでスコアは変わりますよ。

豊泉：ホールロケーションで言うのは、我々が通常ピンポジションと言っている物ですよ。

先日の嵐山のシニアオープンでもそうですが、難しいコースをプロがどうやって克服するかが見所なんですよね。今日難易度が高ければ、翌日はグリーンを調整するなどしますね。毎日同じメンテナンスはしませんから。



大澤：先ほど野口さんは、競技委員は守りであると言われましたが、設定通りに攻めさせると考えれば、守りだけではない醍醐味があるのではないですか。

野口：一つは誘いですね。ゴルフは錯覚の競技だとも言いますね。ティーインググラウンドでは多くのプレーヤーが経験してるでしょうが、コース戦略もそうですよね。一般のプレーヤーでは克服できないような所を、プロがどう打つかを見たいんですよ。例えば直接グリーンを狙えない時、一度木に当ててグリーンに乗せるなんていう技術や、状況判断の方法など見るところは沢山ありますね。

竹川：1打、2打先を考えて打っていくんですね。

野口：ゴルフは、次の1打をどうするか、常に考えながらプレーしなければいけないんですね。

大澤：アマチュアもそういった考えを持ってプレーすれば、スコアはちじまりますね。

野口：ある選手がパッティンググリーンで1メートルそこそこの距離を練習してるんですが、ほとんど入らないんですね。プロなら百発百中でも当たり前の距離なのに、たまにしか入らないんですよ。おかしい練習をしてるなと思ってましたが、今にして思えば、いかにしてスイートスポットに確実に当てるかの練習をしてたんでしょうね。バンカーショットなども何かを想定して、いろんな練習を試してますよ。

豊泉：スポットを1ミリも外さない練習でしょうね。

野口：昔は、パターのスイートスポットが光ってましたよ。

■日本オープンで幻のホールインワン

豊泉：こんなエピソードがあるんですよ。日本オー

ブンで戸田藤一郎が野口さんのマーカーだったんですよ。ショートホールでスコアカードに「1」と書いて野口さんに渡す素振りをしてニヤニヤと笑ってから、消して「3」にしたことがあるんですよ。1回で入ったのは本当だったんですけど、ティーからは3打目だったんですよ。(笑)

野口：小野カントリークラブの17番のパー3でしたけど、私が日本オープンに出た最後の試合でした。前は全部池で、1打目は池にポチャンですよ。でも打ち直しの球が入っちゃったんですよ。我慢できるもんじゃありませんが珍しいですよ。1969年でしたね。

大澤：でも舞台が日本オープンでしょ。ちなみに参加人数は116名でアマチュアは24名でしたね。

野口：その時戸田さんは優勝候補だったんですが、何番ホールだったか、入れてはいけないグラスバンカーというかグラスリバーというか、そこに入れちゃって、打っても打っても出ないんですよ。7打か8打打ちましたよ。見てて気の毒になりましたよ。

豊泉：戸田さんはボールとクラブフェイスのコンタクトが非常に鋭い人でしたよね。その人でもそれだから、私だったら白骨死体になってるんじゃないかな。(笑)

大澤：本で読んだことがあります、右手の名手だったんですよ。ダウンブローできっちりボールをとらえて打っていくんですよ。

豊泉：ねらい通りの所に打つ練習をして、所属コースの木を1本枯らしたという伝説が残ってますよね。

■職人技の人情家

野口：林由郎さんとは何回か回ったことがあります。東京ゴルフクラブでの関東オープンの時だったと思いますが、ギャラリーが何人か付いたんですよ。そうしたらバンカーからのショットの前に「よーし、入れてやろーか！」と言うと、深いバンカーから見事にカップインさせたんですよ。風貌もスウィングもご存じの通り個性的でしょ。ゴルフの技術も職人技ですよ。

でもね、私も彼はそういう性格かと思ってたんで

すが、我孫子でのシニアオープンの時に表彰をしたんですよ。その時のコメントで林さんは「私は我孫子にキャディーとして採用していただき、プロにして頂きました。皆様のおかげで…」と話すんですよ。感謝の気持ちを持ち続けている人だったんですよ。聞いて感激しましたよ。今の横柄な若いプロに聞かせてやりたいですよ。

大澤：昔はキャディーとして働きながら練習して、メンバーの援助を受けながらプロになっていくのが通例でしたよね。だから、クラブハウスにもプロは入れなかった時代が長かったですよね。今のプロへのなりかたとは大きく違いますね。



豊泉：今でも軽井沢にはプロの回れないコースがありますから。

野口：プロにはプロの、アマチュアにはアマチュアの自覚があって、プロが上手いのはのはあたりまえ。だからといって、べらぼうな暴挙をアマチュアに見せるのはとんでもない。

豊泉：メディアも発達しているのだから、プロの一挙手一投足が伝わってしまう。だからこそアマチュアのお手本になってもらわないと困りますよ。

野口：JGAの試合運営について厳しすぎると、プロから注文があるんですよ。特に時間については各ホールで厳しく制限されていますから。今年はその点でも改革していき、ある程度は選手の自由を認めるように考えています。しかし、出場人数を減らすことにもなりますね。でもね、今ほとんどのプロが、自分のパットの番が来るまで『ボーッ』としていて、やおらラインを読み出す。時間の短縮は自分たちでも出来るのに、すぐ人のせいになりますね。むしろアマチュアの方が他人の打っているときもラインを見てますよね。

大澤：ジュニアからプロに向かう選手が多いと思いますが、その辺のマナーを含めた教育もやられているんですか。

野口：バッチリやっていますよ。ただ、プロになったとたんガラッと変わりますね。メディアからちや

ほやされると特に。プレーヤーである前に人間でなきゃならないのに、礼儀をわきまえないプロの多いこと。

■golferである前に人間であれ

大澤：競技委員としてのご苦労は。

野口：ある有名なベテランプロが、障害者と思われる人と親しく話をしている、スタートの時間になってもティーインググラウンドに上がらないんですよ。その時私はスターターをしていましたので、スタートするように促したんです。そうしたらそのプロがなんて言ったと思います。「失格だったら失格でもいいよ！」と言うんですね。腹が立ちますよね。例えどんなにいいことをやっても、プレーに関しては我々競技委員のことを聞いてもらわないと、自分は良くても、後の選手はどうするんですか。ファンサービスと競技とは別であることを、そんなベテランでも勘違いしてるんですよ。

大澤：プロは一匹狼で戦っているし、競技委員など競技の運営に関わる方々との意識の差があって、それがひとつの土俵の中でかみ合わない部分が多いんでしょうね。

■飛ぶクラブに制限

豊泉：話は変わりますが、一般のgolferの方は余り気づいていないと思いますが、去年の日本オープンが行われた広野ゴルフ倶楽部のことですが、ショートホール4つが、きれいに東西南北を向いてるんですよ。あらゆる方向からの風向きに対して技量を試させる完璧な設計になっているんですね。しかもアウト5番のショートは158ヤードくらいですが、その前の4ホールが450から480ヤードの長いミドルになってるんですね。ここをイーブンで回った人は殆どないくらいの難関ですよ。そういったセッティングの出来た素晴らしいコースでしたね。

大澤：その辺りのハイレベルなセッティングの問題になると、競技委員長の経験豊富な戦歴があつてこそそのものなんでしょうね。

野口：昔は良かったんですが、今は道具が進化して、どの位飛ぶか解らないでしょ。セッティングに悩むこともありますよ。

大澤：全英オープンもコースを長くするように各コースが計画しているそうですね。飛距離にコースが追いつかないといったところでしょうか。最近ドライバーの飛距離を制限する話が出てるんですが、いかがですか。

野口：今年から日本の競技では条件に入れます。関東の方もジュニアとクラブ対抗を除く競技会には制限が付きます。でもクラブを制限するより、ボールを飛ばなくする方がいいと思いますがね。企業の問題もありますからね。

今日会合があつたんですが、いろいろな説明に対して質問が沢山出るんですよ。女子プロのウェアやルールの改正など、毎年毎年こんなに質問の多い難しい競技は他には無いですよ。

大澤：まだまだ伺いたいことが沢山ありますが、時間も来ましたので、今回はここで終わりとしします。益々のご活躍を期待しております。本日はどうも有難うございました。



投稿募集

この会報は毎年定期的な発行を予定しています。生涯スポーツとしてのゴルフをより楽しめるように、役立つ情報提供を考えています。

また、会員皆様の交流の場として積極的な利用もおすすめします。どしどし投稿をお願いします。

ゴルフについての楽しいお話や旅行記などお寄せ下さい。

投稿先は

立川市ゴルフ協会事務局広報委員会まで

スナッグ・ゴルフ講習会報告

ジュニア育成委員会副委員長
榎戸 岩 雄

ジュニア育成委員会は、小学生を対象にスナッグ・ゴルフを通じて、マナー・協調性・忍耐力・人に対する思いやり等が身につけられ、そしてゲームの仕組みやルールを学び楽しさに触発されて、従来ゴルフに余り関心の無かった子供達がゴルフに出会い、興味を起こさせるきっかけとなる様、ジュニア育成に力を入れています。

本年度も10月に恒例のスナッグ・ゴルフ講習会を立川市立上砂川小学校に於いて開催しました。

第1日目の10月1日は、泊ジュニア育成委員長はじめ役員の方皆さんもこの講習会の為に体調を整え、張り切って臨もうと準備していましたが、今年は10月に入り秋雨前線の影響でぐずついたあいにくの天気続き、中止となってしまいました。

2日目の10月12日は、5日振りに雨が上がり、久しぶりにスポーツの秋にふさわしい青空となり、さわやかな天気の中、村野副理事長はじめ榎戸・安藤(明)・清水の各役員が参加。

校庭には午前9時の開催にも拘らず、すでに担当

の先生によってスナッグの用具、白線で4ホールが作られ、先生をはじめ31名(男30名・女1名)の多くの元気な子供達が集まっていました。

まず全員で朝の挨拶、スナッグの説明、諸注意、準備体操をし、31名を4組に分け、担当の先生をはじめ3名の役員でそれぞれの組の子供達にクラブとパターの基本指導し、その後各組で競わせ「ナイスショット!」「ワンオンだ!」とはしゃぐ元気な声を響かせながらプレーを楽しんでもらい、無事に講習が終了となりました。

ただ、かえすがえすも、前ジュニア育成委員長として活躍された中村登茂行さんの明るい笑顔を見られなかったのが残念でなりません。大きな体でユーモアをまじえ、てきぱきと仕事をこなし、病をおして子供達にエールを送っていた中村さん、きっと空のかなたから見守っていることでしょう。多くの方々に支えられている事を改めて感じさせられた一日となりました。

平成18年競技会のお知らせ

- ① 「立川市ゴルフ協会親睦ゴルフ大会 兼
都民大会ゴルフ競技会選手選考会」
平成18年6月29日(木) GMG八王子ゴルフ場
- ② 「都民大会ゴルフ競技会」
平成18年8月21・22日 GMG八王子ゴルフ場
- ③ 「立川市民ゴルフ大会」
平成18年11月16日(木) 立川国際カントリークラブ

各種競技会報告

— 平成17年度立川市ゴルフ協会親睦ゴルフ大会報告 —

開催日：平成17年7月7日（木）／会場：青梅ゴルフ倶楽部 東・西コース
参加者数：96名（女性10名）

男性グロスの部		東	西	GROSS
優勝	大澤啓藏	35	38	73
準優勝	小林正義	37	38	75
第3位	住吉正光	40	36	76
第4位	友野弘章	38	39	77
第5位	安藤重治	38	40	78
第5位	松土昭彦	39	39	78

女性グロスの部		東	西	GROSS
優勝	金川麗子	40	40	80
準優勝	鈴木千枝子	42	40	82
第3位	泊美津枝	40	44	84
第4位	小俣明美	40	47	87
第5位	笠原瑞穂	47	42	89

男女ダブルペリアの部		東	西	GROSS	HCP	NET
優勝	松浦敏之	41	38	79	9.6	69.4
準優勝	西村和巳	44	42	86	15.6	70.4
第3位	平野実	38	41	79	8.4	70.6
第4位	中澤一美	42	42	84	12.0	72.0
第5位	友野弘章	38	39	77	4.8	72.2



— 第59回都民大会（区市町村対抗）夏季大会「ゴルフ競技」成績 —

開催日：平成17年8月22日／会場：青梅ゴルフ倶楽部

- 【団体戦】 男子 6位（Aの部上位2名とBの部上位2名の4名合計ストローク）
 出場選手 Aの部：小林正義（77）、松浦敏之（80）、古庄武信（棄権）
 Bの部：小林勝美（74）、柳秀熙（79）、大澤啓藏（84）
 女子 4位（出場4名中上位3名合計ストローク）
 出場選手 aの部：泊美津枝（94）、小俣明美（89）
 bの部：金川麗子（82）、小林かおり（83）
- 【個人戦】 男子 Aの部：小林正義 9位、松浦敏之 21位、古庄武信 棄権
 Bの部：小林勝美 6位、柳秀熙 30位、大澤啓藏 58位
 女子 aの部：小俣明美 12位、泊美津枝 22位
 bの部：金川麗子 6位、小林かおり 11位

— 第59回立川市市民体育大会 立川市民ゴルフ大会成績 —

開催日：平成17年10月20日／会場：東京バーディクラブ

【スクラッチの部】	男性の部	OUT	IN	GROSS	女性の部	OUT	IN	GROSS
優勝	真田雅彦	35	36	71	泊美津枝	45	41	86
準優勝	須崎昭平	39	37	76	山並紀美子	51	43	94
第3位	大上千明	40	37	77	小俣明美	50	44	94
第4位	小林正義	40	38	78	杉山タキ子	47	47	94
第5位	寺島昭一	38	40	78				

理事・ジュニア育成委員長

中村登茂行さんを偲んで



立川市ゴルフ協会 専務理事

豊泉幸夫

入退院を繰り返しながら病と闘っていた、中村登茂行さんの容態が悪くなってきたことを知り、覚悟は出来ていましたが、やはり訃報にふれると大変な悲しみで涙が止まりませんでした。(2005年7月2日ご逝去 享年57)

登茂行さんがロータリークラブへ入会(1995年)してからのお付き合いでしたが、良い兄貴分で非常に波長が合い、いつも各方面で一緒に行動させてもらいました。

特に、ゴルフが大好きでよく一緒にプレーもしましたし、早朝から深夜までの楽しい思い出は忘れられません。

確か1995年だったと思いますが、17番ホールでホールインワンを達成し、続く18番最終ホールパー5ではイーグルで2ホール連続イーグルのホールアウトと言う偉業を達成したり、その何年前には「たましん」主催の「たまカップ」に優勝され、平尾昌明チャリティーゴルフトーナメントにも出場されました。

特に調子の良い時など、「私を 中村プロ行 と呼んで下さい。」などと言っては、周りを笑わせていました。

1998年には野口正三さんの呼びかけで、立川市ゴルフ協会を設立しましたが、そのときの活躍は多大なものがありましたし、手術直前までジュニア育成と言う大事な事業を病を押してがんばってくれました。

市内の小学校へ「スナッグゴルフ」を寄贈する事になり、小学校の選定には校長会に出かけ、また立

川市教育委員会へ出向き協力を依頼し、ジュニア育成にはたいへん一生懸命になって活躍していただきました。

最後に一緒にゴルフ場を歩いたのは、2004年の日本シニアオープンゴルフ選手権の茨城ゴルフクラブでした。野口正三さんが競技委員長で、私が競技委員でしたので、体調も優れなかったと思いますが、仲間を連れて幹事役に徹して遊びに来てくれました。

なんと言っても、あの明るさ、楽しさは周りの人を幸せな気分にしてくれるすばらしい人間「中村登茂行さん」でしたから、今でも彼を思うと大きな寂しさ、悲しさを感じます。

まだまだ、いろいろなことをやりたかったでしょうが、でも今はそれも叶いません。しかし、あなたはすばらしい家族を残されました。どうか天国でご家族や、私たちを見守ってやってください。

もう会えませんが、あなたのあの笑顔は私たちの心にいつまでも残っています。

登茂行さん、もう病と闘わなくていいですよ。

もう、痛くないでしょう。ゆっくり休んでください。天国で大好きな、大好きなゴルフを思いっきり楽しんでください。

友情をありがとう。

登茂行さんのご冥福をお祈りいたします。

合 掌



マクリハニッシュ・ゴルフクラブ3番ホールグリーン風景

ふたたび、 「幻のコース」を 訪ねて

立川市ゴルフ協会理事
大澤 啓 藏

「奇っ怪なディユーンの稜線に遮られて海は見えないが、絶えず地底から波の音が響き、長い草が見渡す限り渦巻く荒涼の盆地一面、太古のままの姿をとどめている。まるで1億年もタイムスリップしたような風景の中に、朱色も鮮やか、ピンフラッグがはためいていた。」ゴルフ・エッセイスト夏坂健氏の名著「ナイス・ボギー」で紹介した「幻のコース」マクリハニッシュ・ゴルフクラブ3番ホールの風景である。スコットランド西部の大西洋に面し、地図では一見、島かと思うほどくびれた部分のあるキンタイア半島を走る主要道路A83号線を南下すると、赤レンガのビルが印象的なキャンベルタウンに着く。「幻のコース」は街から10分ほど走ったあたりでマクリハニッシュ湾に沿って見えてくる。

96年のスコットランド・ゴルフ調査旅行から10年経った05年8月初旬に、ふたたび訪れるチャンスがやってきた。今回の主目的は3つ。マッセルバラの競馬場内にある「マッセルバラ・オールド・ゴルフコース」とノース・ベリックの東リンクスを調査訪問すること。アイラ島に渡って島内唯一のゴルフコース調査とウイスキー蒸留所を訪ねること。そして、「幻のコース」を訪ね、「1億年もタイムスリップしたような」コースを体験することであった。今回もエディンバラ空港でレンタカーを借り、辿り着いた街々でB & B（イギリスの民宿）に泊まりながら、スコットランド各地のゴルフコースを訪ね歩く旅だ。

8月1日夕刻、エディンバラに降り立った。マッセルバラ、ガレーン、ノース・ベリックを経てセントアンドルーズには2泊した。オールドコースにはスタンドも一部残っており、全英オープン之余韻が

漂う。この大会を最後にメジャーからの引退を表明したジャック・ニクラウスをデザインしたメモリアル5ポンド紙幣が発行されており、幾つかの銀行を訪ねて幸運にも数枚を入手できた。翌日、セントアンドルーズから西に向かって6時間走らせ、キンタイア半島で最も細い所にある小さな港町タバートに宿をとり、アイラ島に渡る準備をする。次の朝、約2時間のフェリー乗船でアイラ島のポートエレンに到着。島にはウイスキー蒸留所が8つもあるが、「ボーマア」など4つを訪問し、夕方に島内唯一のゴルフコースを訪れてプレーする。夏のスコットランドは午後8時過ぎまで日が暮れない。



アイラ島にある「ボーマア」のウイスキー蒸留所

翌朝のフェリーでキンタイア半島に戻り、再びA83号線を南下して昼過ぎにキャンベルタウン到着。ハーバー近くのツーリスト・インフォメーションに寄って宿を決めたあと、B843号線を走ってマクリハニッシュへ向かう。予約していなかったがプロ・ショップでプレー出来るか尋ねるとOKで、1時間近く待ってスタートとなった。プロ・ショップのすぐ脇からスタートする1番ホールは「世界のベスト1番ホール」に選定された名物ホールである。423ヤード・パー4と長いだけでなく、ホールのす



フェリーから
見たアイラ島
の風景

ぐ左に迫る海岸を怖がって打つと、右側には18番との間に深いラフが待ち受けている。ティー・ショットをマクリハニッシュ湾の砂浜に向かって打つ海越えの難ホール。1番ホールと2番のフェアウェーは海岸沿いのホールでほぼ海面レベルだが、2番グリーンは小川を越えて5メートルほど急坂を昇った高台にある。2番ホールは378ヤード・パー4でティー・ショットは会心だったが、2打目地点からは旗竿の先も見えない。コース・ガイド頼りのセカンド・ショットは上手くオンして、2パットのパーでホール・アウト。いよいよ3番ホール。一段高いティー・グラウンドに立つと、海に向かった364ヤード・パー4の緩やかな打ち下ろしで、200ヤード付近にマウンドがある。その先は下り傾斜になっているため、ブラインドのティー・ショットになる。強い向かい風が絶え間なく吹き、まったく未知ホールのためにドライバーを持つ勇氣なく、5Wで低いティー・ショットを打った。トロリー（手引きカート）を引いてセカンド地点に向かうと、狭いフェアウェーの周囲には腰まである草原が風にそよぎ、盆地の突き当たりに50ヤード近くの細長いグリーン奥に旗竿が立っていた。「ナイス・ボギー」には「朱色も鮮やか、ピンフラッグがはためいていた」とあるが、実際には前半9ホールは青旗で後半が赤旗であり、ホール距離もスコアカードと若干違っていた。

4番以降も太古にタイムスリップしたような風景の中、起伏に富んだリンクスの草原に点在するホールを巡り歩く。フェアウェーは硬くしまってティー・ショットの距離は稼げるが、芝が薄いのでアプローチ・ショットはウエッジでも高い弾道が打てずボールは止まらない。手前30ヤードあたりから転がして寄せようとするが、硬くてアンジュレーションも強いグリーンのため、まったく意外な転がり方をし外に出てしまう。日本でプレーする技の引き出し

では歯が立たないのを痛感しながら、やっとの思いでプレーを終了した。クラブハウスに立ち寄ってビター・ビールを飲みながら、散々なスコアでも今日は自分なりのプレーが出来た満足感に浸った。

実は、前日に訪れたアイラ島唯一のコース「ザ・マックリー・ホテル&ゴルフリンクス」は想像を絶するリンクスコースだったのである。海からの強風が常に吹き、少しでもミスるとボールは果てしなく曲がって草原の彼方に消えた。ティー・ショットをフェアウェーど真ん中に打っても、サンド・デューンへ落ちる場所によってボールは深いラフに転がり込み、見失う事がしばしばであった。さらに、幾つものホールでグリーン手前に小山があったり、窪地の底にあたりしてグリーンがまったく見えない。コース・ガイドだけを頼りに、ロスト・ボールの不安と闘いながら毎ショットするため、頭の中は真っ白になりラウンド後半は話す気力も失っていた。強風とアンフェアなコースに打ちのめされながら18番を終わり、「ゴルフは自然との闘いなのだ」という言葉だけが頭の中で渦巻いていた。アイラ島のリンクスコースを、「まるで3億年前にタイムスリップしたような異次元の風景が広がる、ゴルファーをいじめる幻のモンスター・コース」と叫びたかった。



セントアンド
ルーズ・オー
ルドコースの
キャンセル待
ちで早朝か
ら並ぶゴル
ファー

あっという間に夢の旅が終わり現実にもどる機中で心に浮かんだのは、スコットランドの風景が前回訪ねた時とほとんど変わっていない懐かしさだった。しかし、10年という時の流れも実感した。特に驚いたのは、有名ゴルフコースの料金が高騰していた事である。あれこれと考えるうちに、またスコットランド各地を訪ね歩き、もっと凄い「幻のコース」を発見して挑戦したくなった。そうだ、その日に備えてメンタルを鍛えリンクス用の技を磨いておかねば！

（本稿は、筆者が所属する人間カントリー倶楽部の会報へ寄稿した文章を一部改作したものです。）

立川市ゴルフ協会 規約

第1条 (名 称)

本会は、立川市ゴルフ協会（以下本会）という。

第2条 (事務局)

本会の事務局は会長の指定する場所におく。

第3条 (目 的)

本会は、生涯スポーツとしてのゴルフの健全な普及と発展に努め、マナーと技術の向上を図ると共に、会員相互の親睦を図り、立川市民の体力向上と人格の健全育成に貢献することを目的とする。

第4条 (組 織)

本会は、立川市在住在勤の者をもって組織する。ただし、理事会の承認を得た者は、この限りでない。

第5条 (会 員)

1. 市内に在住在勤するゴルフ愛好者は、会員の推薦により理事会の承認を得て、本会に入会することができる。
2. 本会の会員は、本会の主催する公式競技に参加することができる。

第6条 (事 業)

本会は目的達成のため次の事業を行う。

- ①大会、教室等の実施
- ②他団体との交流及び協力
- ③ゴルフ愛好者の拡大とジュニアの育成
- ④ゴルフの啓蒙と普及発展に関する指導と研究
- ⑤その他本会の目的を達成するために必要な事業

第7条 (役 員)

本会に次の役員を置く。

会 長	1名
副 会 長	2名
理 事 長	1名
副理事長	2名
専務理事	1名
理 事	25名以内
会 計	2名

監 事 2名

顧 問 若干名

第8条 (役員の選出及び任期)

1. 役員は、理事総会において会員の中から選出する。
2. 役員の任期は就任後2回目の定時理事総会の終了の時までとし、再任を妨げない。
3. 補欠役員の任期は前任者の残任期間とし、増員役員の任期もこれに準ずる。

第9条 (役員の任務)

1. 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時はその職務を代行する。
3. 理事長は本会の運営を統括して、理事会を召集し、会務を執行する。
4. 理事長は理事会の決議に基づき、会務を遂行する。
5. 副理事長は、理事長を補佐し、理事長不在の時はその職務を代行する。
6. 専務理事は、理事長の命により、事務を処理する。
7. 理事は、理事会を構成し、会務を執行する。
8. 会計は、本会の会計を処理する。
9. 監事は、事業及び会計を監査する。
10. 顧問は、理事会に出席し、本会の運営について意見を述べる事ができる。

第10条 (会 議)

1. 本会の設置する会議は、理事総会、理事会、委員会、その他会議とする。
2. 理事総会は第7条に定める役員並びに委員会委員で構成し、毎年6月末までに会長が召集し、定時理事総会を開催するものとする。
3. 理事会は第6条に定める事業を遂行するために、必要と認められる事項を審議決定する事ができる。
4. 理事総会及び理事会は理事長が議長となり、議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の裁定で決するものとする。
5. 理事会は事業年度終了後、事業報告並び

に決算、及び事業計画並びに予算案等の議案書を策定し、また、事業報告並びに決算について、監事の監査を受けた後、定時理事総会に提案し承認を受けるものとする。

6. 理事会は、前項の議案書等について承認を受けた後、すみやかに会員に報告するものとする。

第11条 (会の経理)

会の経理は、会費、事業収益金、寄付金、その他収入をもって会の運営費に充てる。

第12条 (会費)

1. 入会金 2,000円とし、入会時に払い込むものとする。
2. 年会費 3,000円とし、所定の口座に振り込むものとする。

第13条 (会計年度)

本会の会計年度は、4月1日に始まり、(翌年)3月31日に終わる。

(雑則)

第14条 (細則)

本会規約施行に関する細則、並びに競技細則は、理事会の議を経て別にこれを定める。

第15条 (規約の改廃等)

この規約を改廃しようとするときは、理事総会の決議を受けなければならない。

付則 この規約は平成11年7月21日より実施する。

立川市ゴルフ協会役員及び委員会

名誉会長	中嶋 榮治								
会長	関 孝和								
副会長	草野 忠正	鈴木 榮一	野口 正三						
理事長	竹川 茂彦								
副理事長	川野 辰夫	須崎 昭平	村野 安成						
監事	村上 嘉幸	大神田忠弘							
専務理事	豊泉 幸夫								
会計	石垣 圭一	清水 千春							
総務委員会	委員長 山口 貞夫								
	副委員長 浅見 英明	安藤 明義	安藤 徳長	野村 勝久					
競技委員会	委員長 須崎 昭平								
	副委員長 大澤 啓蔵	山本 勝敏	泊 美津枝						
	委員 新井 敏夫	安藤 明義	榎戸 岩雄	小倉 雅雄	須崎 八朗				
	委員 平野 実	松浦 敏之	和田 秀雄	小俣 明美	前田真由美				
広報委員会	委員長 大澤 啓蔵								
	副委員長 小野 優								
規則委員会	委員長								
	副委員長 須崎 昭平	豊泉 幸夫	泊 美津枝						
ハンディキャップ委員会									
	委員長 村野 安成								
	副委員長 有光 正男	安藤 義治							
ジュニア育成委員会									
	委員長 泊 美津枝								
	副委員長 榎戸 岩雄	須崎 八朗							
	委員 豊泉 幸夫								

－ 委員会設置運営規定 －

1. 本会に、総務委員会、広報委員会、規則及びハンディキャップ委員会、競技委員会、及びジュニア育成委員会を置く。
2. 委員会委員は、理事の中から理事会において選出する。
3. 各委員会の委員長は、前2項で選出された委員の互選で決定し、他は副委員長として委員長を補佐する。
4. 各委員会委員は、理事会の承認を得て、会員の中から委員を選出することができる。
5. 前4項で選出された委員は、本会規則第7条に定める役員たる資格を有し、任期については同規則第8条を準用する。
6. 委員会は、理事会からの諮問事項及び別表に掲げる事項を処理する。

総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・理事総会、その他会議等に関する事項 ・規約及び諸規則の制定、改廃の検討に関する事項 ・会合議事録の作成に関する事項 ・会員の入退会に関する事項（主に会員名簿管理） ・その他各委員会に属さない事項
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動、会員募集、組織の強化に関する事項
規則及び ハンディキャップ委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・規則の研修と指導に関する事項 ・会員のハンディキャップに関する事項
競技委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会（市民大会、対抗競技会、国体予選会等）の企画運営に関する事項 ・研修会の企画運営
ジュニア育成委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者、ジュニアの育成指導に関する事項



ゴルフは生涯スポーツです

各種イベント・プロレッスン・ジュニアゴルファー育成

- カシワ会（お客様どなたでも参加出来るコンペ）、クラブ試打会（春・秋に一流メーカーの最新クラブを体験）の開催。
- 井上雅之プロによるプライベートレッスンやカシワスクール、産経ゴルフスクールを開講。
- ジュニアゴルファー育成のため回数券の半額サービスを実施。（要登録）
- 早朝練習（フロントオープンまで）は入場無料

※詳しくはホームページ <http://www.kashiwa-golf.co.jp> またはフロントでお尋ねください。

**年中無休
駐車場100台完備**



立川市柏町2-26

Tel. 042-535-3223

安心のために、お葬儀の
あらゆるご相談を承っております

どうぞ、どの様なことでも
お気軽にご相談ください。 **ご相談は
無料です**

葬儀・式場のご相談センター

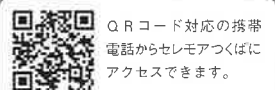
セレモピアン

●年中無休・24時間受付ダイヤル●

☎ **0120-82-0300**

- 伊勢丹立川店6F ☎042-523-0300
- ルミネ立川7F ☎042-528-0300
- 国分寺駅ビル8F ☎042-359-0300
- 伊勢丹新宿本店7F ☎03-3355-0300
- 京王百貨店新宿店6F ☎03-5324-0300
- 新宿モノリスビル1F ☎03-3349-0300
- セレモアつくば東京本社1F ☎03-3225-0300
- 吉祥寺ロンロン2F ☎0422-28-0300
- そごう八王子店6F ☎042-628-0300

★葬儀式場やお寺な ★生前予約葬儀のご相談
どのご案内 ★仏壇・仏具のご購入時
★お葬儀や法事に關 のアドバイス
する習慣やマナー ★相続等のご相談
★お葬儀費用の目安 など



日本テレビ番組提供
〈入会金のみの会員制度〉
ファミリーライフクラブ
ふらり
途中下車の旅
毎週土曜日AM9:30~10:30
是非、ご覧ください。
◎セレモアつくば

明確な費用と品質 安心の葬儀

●病院からご自宅・式場までの寝台車の
お申し込みを昼夜を問わず承っております。
●国際規格 ISO品質・サービスの葬儀を
経済的な安心価格で承ります。

昼夜を問わず承ります。年中無休・葬儀24時間安心ダイヤル

携帯・PHS可

☎ **0120-470-470**

特別割引特典の
会員制度

あってはならないお葬儀…かならずご納得いただける経済性と安心。是非ご入会ください。

●お花・介護用品から結婚式・お葬儀のことまで●

会員11万人の実績

《JECIA〈ISO 9001 審査登録 格付機関〉★★★★★認定》

ファミリーライフクラブ

〈特にお葬儀の(当社標準 基本価格) 50%割引が経済的です。〉

入会金
50,000円のみ
(年会費なし)
2回~10回の分割払いも
ご利用いただけます。

資料請求・入会お申込み ファミリーライフクラブ事務局 ☎ **0120-470-470**

サービスエリア

サービスエリア以外の道府県については
セレモアつくば全国ネットワーク
により対応いたします。
※ファミリーライフクラブのサービス
エリアは、茨城・群馬を除きます。

◆品質保証の国際規格 ISO9001 審査登録(葬祭サービス)
◆JECIA〈ISO 9001 審査登録 格付機関〉★★★★★認定
業界随一の規模と設備の

Eternal Heart
株式会社 セレモアつくば

CEREMORE TSUKUBA 葬儀・斎場・仏壇
立川本社 / 東京都立川市柏町1-26-4 ☎042(534)1111(大代表)
東京本社 / 東京都新宿区四谷4-19-7 ☎03(5379)0111(大代表)
八王子本社 / 東京都八王子市大楽寺町128 ☎042(867)1111(大代表)
埼玉本社 / 埼玉県坂戸市日の出町16-52 ☎049(283)0111(大代表)

JSA
QMS
ISO9001:2000
審査登録
ISO9001 審査登録

JAB
QMS
ISO9001:2000
審査登録
ISO9001 審査登録

セレモアつくばは、JECIA-ジェシアより
「消費者が安心して相談できる優良葬儀社」
として最高格付けの5つ星に認定されました。

JECIA
JECIA(日本葬儀文化協会)は、
葬儀の品質向上を目的として、
サービス提供の標準化と品質の
向上を図り、消費者の安心を
実現することを目的とする葬儀社
の認定・評価を行う団体です。

◆業界随一のネットワーク セレモアつくばグループ <http://www.ceremore.co.jp>

東京本社・立川本社・八王子本社・埼玉本社・新宿支社・三鷹支社・東大和支社・福生支社・川崎支社・渋谷営業所・国分寺営業所・国立営業所・八王子東営業所・横浜西営業所・立川会館白蓋殿・沙羅堂・東大和会館・玉川上水会館・武蔵村山会館・昭島会館・福生会館・八王子会館・八王子片倉会館・影のホール・セレモアやすらぎ館立川本店・新宿西口店・坂戸店・京王百貨店新宿店・仏壇ギャラリー代々木・吉祥寺ロンロン店・東大和店・ルミネ立川駅ビル店・八王子片倉店・八王子めじろ台店・お香の専門店新香咲・セレモピアン(伊勢丹新宿店・京王百貨店新宿店・新宿モノリス・東京本社・吉祥寺ロンロン・国分寺駅ビル・伊勢丹立川店・ルミネ立川・そごう八王子店)・壺ギャラリー沙羅(東京本社ショールーム・セレモアやすらぎ館立川本店ショールーム)・ファミリーライフクラブ・福利サポートクラブ・セレモアグランドクラブ・ラビアン・メンバース・エール倶楽部・セレモア24・セレモアイイベント企画・東京民間救急サービス・ホームヘルスケアの店 健康館・セレモアコンサートホール 武蔵野

資料請求 葬祭資料・仏壇資料・ファミリーライフクラブ資料をご希望の方はお電話でお申し込みください。